

## ◆ソニー：車載向けイメージセンサーにおけるソニーの取り組み

ソニーは、2014年に車載向けイメージセンサーの商品化を発表して以降、車載向けをイメージセンサービジネスにおける注力領域の一つと位置付け、ソニーのイメージセンサーにおける高い技術力を結集してきた。CES2018では、今後高度な自動運転の実現に向けてソニーが提案する、イメージセンサー技術による「車の眼」の進化を紹介した。暗所、逆光などの運転環境下において自動車の周囲360度の状況を検知し、早期からの危険回避行動を支援する技術を疑似体験することができる。加えて望遠や広角、高速、感度などが求められるシーンにおける、肉眼とイメージセンサーによる撮像の違いを体感できる。

ソニーは、人の眼を超えるイメージセンサーの開発により、暗所における感度、遠方や広角撮影のための解像度、逆光シーンでのダイナミックレンジの向上に取り組んでいる。この取組により、肉眼では視認困難な運転環境においても効果的な環境認知を可能にする。

## ◆ソニー：エンタテインメントロボット“aibo（アイボ）”アプリケーション“My aibo（マイアイボ）”の提供を開始

ソニー株式会社は、自律型エンタテインメントロボットaiboのスマートフォン・パソコン用アプリケーション“My aibo”の提供を開始した。My aiboはaiboとの生活をより快適に楽しく過ごすためのアプリケーションで、aiboの本体設定やオーナー情報へのアクセスなどオーナーをサポートする機能の他に、撮影した写真を閲覧できる「aibo フォト」や、アプリケーション上のaiboとふれあえる、aiboと「あそぶ」などを使用できる。また、aibo本体を持っていないくても一部機能のご利用ができる。

【問い合わせ先】

ソニー株式会社

Sony.Pressroom@sony.co.jp

## ◆ソニー/ソニービデオ&サウンドプロダクツ/ソニーマーケティング：広帯域收音でハイレゾ音源収録に対応したコンデンサーマイク3機種発売

～プロフェッショナル向けスタジオ録音用マイクとしては26年ぶりに開発～

ソニーは、20Hz～50kHzの広帯域收音により、ハイレゾリューション・オーディオ（ハイレゾ）音源の収録にも適したスタジオ録音用コンデンサーマイクロホン『C-100』、エレクトレットコンデンサー

マイクロホン『ECM-100U』・『ECM-100N』を発売する。ポータル録音、楽器録音といったスタジオ録音時の各シーンに対応した3機種を商品化した。

ソニーのプロ向けスタジオ録音用マイクとして、1992年に発売された『C-800G』以来26年ぶりに開発されたこれらの機種

は、全て50kHzまで減衰なく收音可能としている。製造事業所は『C-800G』を今も製造する、ソニーグループにおけるマイクロホン基幹工場のソニー・太陽（大分県）。

また、音質はソニー・ミュージックスタジオのエンジニアに協力を得て調整した。

ソニーは、音楽制作の現場にハイレゾ音源の普及が進む中、アーティストやクリエイターが本来届けたい音を限りなく忠実に実現する新たなリファレンスマイクを展開する。

コンデンサーマイクロホン

(型名)『C-100』

(発売日)3月17日

(価格)オープン価格



エレクトレットコンデンサーマイクロホン

(型名)『ECM-100U』

(型名)『ECM-100N』

(発売日)3月17日

(価格)オープン価格



市場推定価格（消費税を含みません）：

『C-100』157,000円前後

『ECM-100U』100,000円前後

『ECM-100N』112,000円前後

※「市場推定価格」は、発売前の製品について、市場での販売価格を当社が推定したものです。

なお、製品の実際の販売価格は、各販売店により決定されます。

【問い合わせ先】

ソニー株式会社 Sony.Pressroom@sony.co.jp

Copyright 2018 Sony Corporation

\*\*\*\*\*

## ◆ゼンハイザー・ジャパン：青山ショールーム、リニューアルオープン

2018年1月9日—昨年末からのリニューアル工事を終え、2018年1月12日に青山ショールームが完全リニューアルオープンした。リニューアルされたショールームは、2017年にリニューアルされたコーポレートアイデンティティに沿い、デザインされた。ヘッドフォン、イヤフォンの展示・試聴に加えて、シーリングマイクを含むマイクロフォン、ノイマン製スピーカーも体験することができるようになっている。

場所：東京都港区南青山1-1-1（新青山ビル 西館2F）

開館時間：平日11時から18時30分まで

（土・日・祝日、年末年始閉館）

なお、リニューアルオープンに伴い、ショールームでの製品販売を終了した。

## ◆ゼンハイザージャパン：ゲーミングヘッドセット GSP 600 をリリース

GSP 600 はゲーミングヘッドセットに対するユーザー 期待を大きく上回る、真に卓越したサウンドパフォーマンスを実現している。改良された新しいスピーカーシステム、ゼンハイザー独自 デザイン&製造 によるも。新しくなったアルミボイスコイルスピーカー、サブベース音域を拡張し、ゲームや映画に新たなインパクトをもたらすことによって、比類ないオーディオ体験を約束する。温かく深みある低音域、完璧にコントロールされた中音域や細部までこだわり抜いた高音域を邪魔することなく、忠実に、リアルにサウンドを再現。ユーザー あらゆるディテールを確実に聴き取り、よりスピーディにプレイすることができる。さらに GSP 600 はブロードキャストクオリティ高品位マイクロフォンを搭載しており、高度なノイズキャンセレーション機能によって、ゲーム中にもどこまでもクリアなコミュニケーションが楽しめる。ゲームサウンド 制御も直感的な操作で素早く行えるよう、マイク ブームアームを上げるだけですぐにミュートできるほか、音量 イヤーカップに内蔵したボリュームホイールで簡単に調節することが可能。



エルゴノミクスデザインの新しいフォルムと超厚型形状記憶イヤープッドを採用したことによりユーザー の耳に気持ちよくフィットし、遮音性と快適な装着感が一層改善されている。新しいデザインはより効果的に外部ノイズを遮断しながら、イヤープッドと頭の隙間から音漏れを防ぐことができるため、よりパワフルな低音域を楽しめる。イヤープッドにスタイリッシュさと快適さを約束する高級素材を使用し、装着時に熱がこもる心配もゼロ。イヤープッド外周にレザレットを、耳 周りにあたる部分にひんやりとした触り心地のスエード調素材をそれぞれ用いており、プレイ中に熱くなっても肌に貼りつきにくいやな感じが無い。

さらに GSP 600 先進 ソリッドメタルヒンジ・システムを採用することで、より自由な動きを実現すると同時に、ゼンハイザー製品ならではの優れた耐久性を一層高めた。この革新的なメカニズムが、ユーザーの頭の形の違いを考慮したフィット感をさらに高め、ヒンジ スムーズな動きによって顔ラインに合わせて装着感を自在に調節するのを可能にしている。またユーザーの頭の大きさの違いに配慮し、ヘッドバンド部に革新的な接触圧調節機能を採用。プレイ中にヘッドセットがずれたりしない程良いフィット感 と、頭を締めつけたりしない快適な装着感を、ユーザー自身が自由に調節することができる。

## ◆ゼンハイザージャパン：オーディオフィールヘッドフォンの新たなスタンダード、HD 820 をリリース

ゼンハイザーはCES2018にて密閉型オーディオフィールヘッドフォンのゲームチェンジャーとして HD820 を発表した。反響音を

最小限に抑制する独自のガラストランスデューサーカバーにより、驚くほど透明感のあるサウンドを実現。どこまでもリアルでナチュラルな音場を生み出す、革新的なヘッドフォンとした。

またダイナミックヘッドフォンのために HDV 820 アンプを開発。常に安定したシンメトリカルな信号処理と極めて低い全高調波歪を実現し、オーディオ ファイルヘッドフォンとの組み合わせにより、混じり気のないパーフェクトな音楽の喜びをリスナーに提供する。低キャパシタンスな独自のインピーダンス整合シンメトリカルケーブルを採用することで、完璧なコンビネーションによるシームレスなパフォーマンスを実現。HD 820 と HDV 820 はいずれも、バランス出力の新たなスタンダードである Pentaconn コネクターを採用。ヘッドフォン用コネクターとしては最も接触抵抗が低いため、歪みが最小限に抑制され、より透明感にあふれたサウンド再生を実現する。

HD 820 は2018 年初夏に発売を予定している。



## ◆ゼンハイザージャパン：Bluetooth 対応カナル型イヤフォン CX 6.00B をリリース

ゼンハイザー独自の高品位スピーカーシステムを採用したCX 6.00B は細部にこだわり抜いたクリアなサウンドと極めて優れた低音域レスポンスをリスナーに提供する。Bluetooth 4.2 および Qualcomm® apt-XTM を搭載し、妥協のないワイヤレスオーディオパフォーマンスを自在に楽しむことができる。さらに Qualcomm® apt-XTM Low Latency 対応により、オーディオ伝送をビジュアルと 100% 同期し、今までにないゲーミング& 映画視聴体験を可能にした。CX 6.00B の新機能の1 つが、便利なマルチコネクション機能。同時に最大2 台のデバイスとペアリング できるため、たとえば携帯電話とパソコンのスイッチングが簡単にできる。また、cVc ノイズキャンセレーション技術を搭載したマイクロフォンを内蔵しており、外出先でも極めてクリアな通話が楽しめ、3 者間通話も可能。さらに3 ボタン リモートで音楽や通話をコントロールできるほか、ユーザーにバッテリーステータスを知らせる便利な音声プロンプト機能も採用した。また快適な装着性と安全性にも優れている。ゼンハイザー独自のアラウンドネックケーブル、エルゴノミクスデザインで角度を付けたイヤピースのバランスを取りつつ、ユーザーへ 負荷を最小限に抑制し、使用中にずれたりする心配もない。また最高のフィット感を実現するために、ケーブルデバイダーで調節も行えるようになっている。イヤアダプターは4 サイズから選択できるので、周囲ノイズの減衰力にも優れている。14g と軽量ながら、耐久性 高い素材を厳選した堅牢設計により、どこへでも携帯できる点も特長。



現代人の忙しいライフスタイルに合わせて連続使用時間も6 時間

と長く、USBによる急速充電はわずか1.5時間でフル充電、10分間で2時間使用がそれぞれ可能。

CX 6.00Bは2018年春に発売を予定

【問い合わせ先】

ゼンハイザージャパン株式会社

TEL: 090-6473-4189

\*\*\*\*\*

## ◆ブラックマジックデザイン：「OldTown White Coffee」 のドキュメンタリーをURSA Mini Pro 4.6Kで撮影

ブラックマジックデザインは北京に拠点を置くLingfang Culture & Media Co., Ltd.が、世界で最も人気のあるコーヒーチェーン店の1つであるOldTownのドキュメンタリーを、URSA Mini Pro 4.6Kを使用して制作したことを発表した。また、同ドキュメンタリーのカラーグレーディングにはDaVinci Resolve StudioおよびDaVinci Resolve Micro Panelが使用された。

Lingfang Culture & Media Co., Ltd.は、Lingfang Wonderlandの子会社。Lingfang Wonderlandは、台湾人の作家/プロデューサー/美食家である王翎芳(Wang Ling Fang)氏と、監督/カメラマンである徐堯鵬(Hsu Yao Peng)氏が共同で設立した、高品質のライフスタイルとカルチャーに焦点を当てたブランドである。旅程のプランニング、レストラン経営、食に関する教育を軸としてビジネスを展開するLingfang Wonderlandは、旅と食の楽しみの見せ方、そしてトラベログを通じた考察の共有に関するエキスパートである。Lingfang Wonderlandは、ドイツ観光局、オランダ政府観光局、ウィーン市観光局など、世界中の観光庁やJoyvioなどの企業から依頼を受け、トラベログに関するドキュメンタリーの制作を行っており、これらは、iqiyi.comなどの人気の動画サイトのホームページや、中国国際航空の機内エンターテインメントサービスで紹介されている。

URSA Mini 4Kで撮影された「Lingfang's Wonderland in Vienna」からインスピレーションを受けたOldTown White Coffeeは、美食家である王氏が、OldTownブランド発祥の地であるマレーシアのイポーを訪れ、現地の料理を楽しみながら現地のライフスタイルを視聴者に紹介するというドキュメンタリーの制作をLingfang Wonderlandに依頼した。

このドキュメンタリーは全編を通してURSA Mini Pro 4.6Kで撮影された。監督および撮影監督を務めた徐氏は、同カメラを採用した理由をこう語る。「撮影期間は2日しかありませんでした。このような厳しいスケジュールでは、朝から晩まで撮影することになります。無駄にできる時間はありません。コース料理がサーブされる瞬間、コーヒーが作られる様子、ゲストたちが料理を楽しむ様子は、スナップショット方式で撮影したので、簡単に操作できるカメラが必要でした。触覚ボタンを搭載しているURSA Mini Pro 4.6Kはもってこいでしたね。指先にある触覚ボタンを押すだけでいいので、特定の機能を見つけるためにビューファインダーから目を離す

必要はありません。」

イポーでの撮影初日のスケジュールは、いかにこの撮影が慌ただしかったか、そしていかにURSA Mini Pro 4.6Kが活躍したかを物語っている。撮影スタッフは現地の有名レストラン、「Restoran Nam Heong」へ出向いたが、スタッフは皆、徐氏がカメラや照明を設定できるよう立ち止まる暇がないほど忙しかった。さらに、熟練のコーヒーパーリスタたちは香り高いホワイトコーヒをあっという間に淹れてしまうため、撮影が非常に困難であったという。

「とにかくスピーディに作業を進めることが鍵でした。URSA Mini Pro 4.6Kの触覚ボタンを使用することで、ISOやアパーチャーの設定、フレームレートの25fpsから60fpsへの変更、あるいは高フレームレートでの撮影に十分な光を得るためのシャッタースピードの変更などをスピーディに行うことができ、非常に助かりました。素晴らしいショットが撮れたのはURSA Mini Pro 4.6Kのおかげですね」と徐氏。

「私が特に気に入っているのは、フレームレートを簡単に変更できるHFRボタンです。私はよく食べ物の撮影を行います。料理を詳細に描写したり、画に詩的な余韻を持たせたい場合に、カメラマンたちは好んでオーバークランクのテクニックを使用します。」徐氏は続ける。「私はアンダーランクで撮ることも多いです。例えばイポーのナイトマーケットでは、活気のある混雑したストリートや輝くネオンサインなどをキャプチャーするのにアンダーランクの手法を使いました。アンダーランクでフッテージを撮影し、ポストプロでフレームレートを上げることで、美しいモーションブラーの効果を得られ、視聴者に特別な雰囲気をお届けすることができます。」

東南アジアの太陽の下での撮影では、IR補償に対応した内蔵NDフィルターが非常に役立ったという。「特に昼間の撮影では、アパーチャーを極限まで絞っても、イメージが簡単に露出過多になってしまいがちですが、NDフィルターで光量を削減することで、サチュレーションを保つことができました。ダイヤルでフィルターを合わせる時に、Blackmagic URSA Viewfinderや内蔵の開閉式スクリーンで実際のイメージを確認できるのは便利ですね。」と徐氏。

Lingfang Wonderlandによるその他のドキュメンタリーと同様、「Lingfang's Wonderland in Iphoh: OldTown White Coffee」はわずか2人のクルーにより作成された。つまり小型で可搬性に優れ、高度に統合されたURSA Mini Pro 4.6Kは、まさにこの撮影にもってこいだったのである。

「撮影現場にいるのは、スタッフ2人と王翎芳だけです。王翎芳は番組ホストとしてカメラの前に立たなければならぬので、実際に撮影は私一人で行いました。URSA Mini Pro 4.6Kは優れた単一の統合システムであり、ワンマン・オペレーションやドキュメンタリー制作に最適だと思います。イポーでの撮影では、URSA Mini Pro 4.6Kに、EFレンズ、Blackmagic URSA Viewfinder、Blackmagic Shoulder Kit、Sennheiser MKE600マイク、Vロックバッテリー、そして照明を装着しましたが、片手で持つことができました。この機動性がBlackmagic Designの魅力ですね。」徐氏は最後こう結んだ。



「Lingfang's Wonderland in Iphoh: OldTown White Coffee」のカラーグレーディングには、DaVinci Resolve Studio および DaVinci Resolve Micro Panel が使用された。

同トラベログは 2017 年 11 月に開始される中国国際航空の機内エンターテインメントサービスで視聴可能。

## 【問い合わせ先】

ブラックマジックデザイン

<https://www.blackmagicdesign.com/jp>

\*\*\*\*\*

## ◆朋栄：ビデオライタ新製品 FVW-700 が米国 MTVG ほかで採用

株式会社朋栄は、ビデオライタ FVW-700 が移動体通信事業者 Mobile TV Group (MTVG、米コロラド州エングルウッド、<http://www.mobiletvgroup.com>)、ビデオ制作会社 Lyon Video (米オハイオ州コロンバス、<http://www.lyonvideo.com>) などで導入されたと発表した。



FVW-700 シリーズは、HDMI、TB2、all-in-one の3つのモデルに加え、Inter BEE 2017 において新たに4K モデルが追加された。同製品シリーズは、タッチパネルディスプレイや無線接続のタブレットを使用して、複数の端末から同時に、ビデオ上にフリーハンドで直接描画することが可能。解説者が画面上にワイヤレスで描画し、解説者が描いた図形の削除や修正をディレクターが行うというような分業体制のオペレーションも可能になっている。さらに、鋭角を含むオブジェクトや、○や×を描画すると自動的に形状補正するフリーハンド自動整形機能のほか、重なり合ったオブジェクト全体の輪郭を描画するエッジ結合機能、オブジェクトを指定した色以外の部分に重ねないように描画するクロマキーヤー機能を備えている。

MTVG は、米国最大の移動体通信事業者の1つで、年間4,000件以上のライブイベントのサービスを提供している。本社はコロラド州デンバーにあり、30台以上の中継車を保有。プロデュースするスポーツイベントで、アナウンサーが使用する信頼性のあるビデオライタを必要としていた。MTVGの創業者でありCEOのフィリップ・ガーヴィン氏は、導入について以下のように話しました。

「私たちは、朋栄の旧ビデオライタ製品を数多く使用していましたが、実際に使用して製品が信頼できるものと分かっていました。そのため、FVW-700の導入もすぐに決めることができました。導入した新しい中継車はよ動いています。」

Lyon Video は、1986年からモバイルTV制作スタジオをはじめ、ビデオ&フィルム制作のフルサービス、ポストプロダクション、DVDオーサリングを手掛けてきた制作会社。Lyon Videoでは、FVW-700の複数デバイスからの同時入力機能を活かしながら、NHL(全米ホッケーリーグ)のホッケーゲームの制作に役立てる予

定。同社COOのシャド・スナイダー氏は、FVW-700の活用について以下のように述べている。

「複数のユーザが同時にコントロールできるFVW-700を使用することにより、複数の解説者が同時に画面上にワイヤレスで描画できるようにするオプションサービスを、私たちのクライアントに提供することが可能になります。私たちは多くの朋栄製ビデオライタを所有しており、製品の堅牢性を知っています。FVW-700を購入することは自然な流れでした。FVW-700シリーズは、将来的に1080p/4Kにアップグレードパスが準備されていることも導入の決め手でした。」

FVW-700は、MTVGとLyon Videoのほか、ロチェスター工科大学(Rochester Institute of Technology=RIT、米ニューヨーク州ロチェスター、<https://www.rit.edu>)においても導入されている。

## 【問い合わせ先】

株式会社朋栄

TEL:03-3446-3528

\*\*\*\*\*

## ◆SCAサウンドソリューションズ：Omnia社製オーディオプロセッサ Omnia VOLT を販売開始



Omnia VOLTは、同社が従来より取り扱っていたデジタルオーディオプロセッサ「Omnia ONE」の後継機種。1ワイドバンドAGC+5バンドAGC/5リミッターを搭載。ラックマウント1Uサイズながら、ハイパフォーマンスの処理能力を提供する。

価格は従来品から据え置きながら、よりきめ細かな音質調整が可能となっている。又本製品はソフトウェアによりFM用にもAM用にもご使用可能。中継局やradiko等からの再送信用で安価なオーディオプロセッサを所望するラジオ局、送信出力は大きくないが音質・音圧をキープしたいコミュニティFM局などにフィットする。「Omnia VOLT」

■ オムニア社の独自の最先端サウンドプロセッシングアルゴリズム Quick Tweak を搭載。

Density、スペクトラルバランス、ステレオサウンドステージ、クリッピングなどを微調整する。

■ 48kHz、24ビットプロセッシング

■ 6バンドAGC (1ワイドバンドAGC + 5バンドAGC) 5リミッター搭載

■ ディストーションフリー ファイナルリミッター/クリッパー

■ ピークコントロールデジタルステレオジェネレーター

■ アナログ、デジタル入出力、デュアルコンボジット出力、

SCA 入力、19kHz 出力

- HTML サーバー内蔵で、PC やタブレット端末からリモートコントロール可能
- Livewire サポートにより AXIA 製品との音声を LAN 接続
- ステレオヘッドホンジャック (レベルコントロール付き) によるモニタリング
- EIA 19" 1U サイズ

ラインアップ

- Omnia VOLT FM・・・FM 放送用
- Omnia VOLT AM・・・AM 放送用
- Omnia VOLT HD-Pro・・・HD、DAB、ストリーミング、マルチキャスト、スタジオ用
- Omnia VOLT Stereo Generator・・・ステレオジェネレーター

【問い合わせ先】

株式会社エス・シー・アライアンス  
TEL:03-3372-3661

\*\*\*\*\*

## ◆ケンコープロフェッショナルイメージング : GODOX X1SJ ソニー用セット / X1RSJ ソニー用受信機 販売開始

同社は GODOX X1SJ ワイヤレスフラッシュトリガーソニー用セット日本正規版ならびに X1RSJ ワイヤレスフラッシュトリガーソニー用受信機日本正規版を 1 月 19 日より、販売した。

### ■製品特徴

X1SJ : 2.4GHz z 帯を使用する無線式のラジオトリガー X1 ソニー用の送信機・受信機のセット。ソニー純正の MI シューに対応します。ソニー純正ストロボと受信機を組み合わせることで、離れたところから無線によるワイヤレスシンクロが可能。送信機は、GODOX AD600、AD200 等と組み合わせての TTL 調光も可能。

制御可能なグループは最大 5 グループ。1 台の送信機で複数のフラッシュ同調が可能で、最大 100m までの距離で使用可能。

X1RSJ : ソニー純正ストロボと組み合わせることで、離れたところから無線によるワイヤレスシンクロが可能となる受信機。

### ■製品名・JAN コード・価格 (税別)

X1SJ TTL ワイヤレスフラッシュトリガーソニー用セット  
日本正規版

4961360033069 14,000 円

X1RSJ TTL ワイヤレスフラッシュトリガーソニー用受信機

日本正規版

4961360033076 6,600 円



【問い合わせ先】

株式会社ケンコープロフェッショナルイメージング  
TEL:03-6840-3622

## ◆ティアック : スクリューロック付きラベリアマイク

『TM-10L』を新発売

『TM-10L』はクリアな音声の集音が可能なラベリアマイクロホン。小型で目立たず装着でき、インタビューやドキュメンタリー、舞台、講義などで話者の音声を集音することが可能。スクリューロック機構付きのコネクターで、同じくスクリュー機構を持つ入力端子に接続した場合、身に着けた状態で動いてもケーブルが抜けにくく、確実に収録することができる。

【主な特長】

- スクリューロック機構で確実な接続
- スクリューロック機構のない入力端子にも接続可能
- ウィンドスクリーン、クリップ付属
- 2色のカラーバリエーション
- マイクロホン感度:-42dBV/Pa、最大耐音圧:115dB SPL
- 無指向性ラベリアマイクロホン
- ケーブル長160cm

【仕様】

形式	バックエレクトレットコンデンサー
指向性	無指向性
周波数特性	50Hz ~ 18kHz
最大 SPL	115dB SPL (at 1kHz)
出力インピーダンス	1.8kΩ ±30% (at 1kHz)
感度	-42dB (0dB=1V/Pa at 1kHz)
等価騒音レベル	36dB
電源	プラグインパワー
駆動電圧	1.5V ~ 10V
プラグ	φ3.5mm (1/8") ステレオプラグ
外形寸法	φ6.5mm x 22mm
ケーブル長	1600mm
質量	24g
付属品	ソフトケース、マイククリップ、ウィンドスクリーン、取扱説明書 (保証書付)



【問い合わせ先】

ティアック株式会社  
TEL:042-356-9131

\*\*\*\*\*

## ◆ドルビーラボラトリーズ

2018年1月9日、ラスベガスで開催されているCES（コンシューマーエレクトロニクスショー）において、ドルビーラボラトリーズ（NYSE: DLB）はさまざまな価格帯の多様な機器を通じて数多くの視聴覚体験を紹介した。Apple、Lenovo、LG、Netflix、パナソニック、Samsung、ソニー、TCL、Vestelなどの強力な世界的パートナーとの協力により、ドルビービジョンとドルビーアトモスの採用が拡大している。

ドルビーラボラトリーズのプレジデント兼CEO、ケビン・イエーマンは以下のように述べる。「ドルビーは、スペクタクルなエンタテインメント体験を可能にするため、音響と映像の科学を進歩させてきました。今回のCESにおいてドルビービジョンとドルビーアトモスの最新の進捗をご紹介できることを嬉しく思います。ドルビーは、今後も、世界中の消費者により多くのドルビー体験を届けていきます。」

ドルビービジョンとドルビーアトモス：音響と映像のスペクタクルな体験を追求ドルビーでは、制作者から消費者までをシームレスにつなぐため、パートナー各社から積極的な協力を得て総合的なソリューションを提供しているとしている。業界内でドルビービジョンとドルビーアトモスの採用が増えるにつれて、このスペクタクルな音響と映像の体験は一般市場にも広がり、消費者は今までになく手頃にこの体験を楽しむことができるようになった。

- Lenovoは、ドルビービジョンをThinkPad X1シリーズ(X1 Carbon および X1 Yoga)に採用した。これは、PCがドルビービジョンを初めてサポートする。
- パナソニックは、UB820 4K UHD Blu-ray プレーヤーにドルビービジョンを採用する。また、ドルビービジョンをサポートするOEMも増えている。
- 中国のテレビメーカー3社は、ドルビー技術をサポートする新製品を投入している。中国メーカーでドルビービジョンおよびドルビーアトモス対応のテレビを最初に発表したのはTCL。TCLは、ドルビービジョン対応のテレビ製品を米国で発売することも発表している。HisenseとChanghongの両社は、ドルビービジョンのサポートを新たなテレビ製品に拡大している。この3社に加えて、2018年にはSkyworthもテレビ製品にドルビーアトモスを採用する予定。
- LG Electronicsは、2018年モデルのすべての有機ELテレビとSuper UHDテレビにおいてドルビービジョンとドルビーアトモスの両方をサポートすることを発表している。また、最新のドルビーアトモス対応サウンドバー(SK10Y)も発表している。これらの発表は、LGの幅広い製品ラインナップで最新鋭の音響と映像の両方が提供されることを意味するものです。
- ソニーは、2018年モデルのX900FシリーズとブラビアA8F有機ELシリーズのテレビでのドルビービジョンのサポートと、初のドルビービジョン対応4K UHD Blu-ray プレーヤーの登場を発表した。さらに、素晴らしい映像に素晴らしい音響を組み合わせるため、ドルビーアトモス対応の主流サウンドバーとしてHT-X9000F（メーカーの希望小売価格\$599）なども発表しています。
- 米国でPhilipsブランドを展開するP&F USAは、新しい69シリーズと59シリーズのテレビにドルビービジョンを採用している。
- ドルビーの提唱する動的メタデータと色表現は、ドルビービジョンの基本要素となっているが、これらが次世代テレビ規格「ATSC 3.0」のHDR仕様に含まれることになった。これは、ドルビービジョンでの生放送を実現するにあたって大きな一歩となった。
- ATSC 3.0の音声にはドルビーAC-4が選ばれている。これにより、世界中の家庭にこれまでにない音声でエンタテインメントが届けら

れるようになるとしている。

## ●制作者の意図そのままにコンテンツを体験してもらう

ハリウッドをはじめとして、テレビ放送、ネット動画配信、ライブプロダクションなどのコンテンツ制作者たちが既に取り組みを始めていますが、ドルビーもドルビービジョンとドルビーアトモスを活かした魅力的なコンテンツの供給網を早急に世界へと拡大することに努めている。映画、連続ドラマ、スポーツ、没入型ゲームなど、ドルビーはプラットフォームの拡大によってさまざまなジャンルの進歩に貢献している。

- Disney、Lionsgate、Paramount Home Media Distribution、Sony Pictures Home Entertainment、Universal Pictures Home Entertainment、Warner Bros. Home Entertainment など、ハリウッドの大手映画会社が家庭でのドルビービジョンとドルビーアトモスをサポートしている。
- iTunes 上の約200本の映画がドルビービジョンで提供されている。
- Netflixは、既に200時間を超えるドルビービジョン対応コンテンツを提供しており、対応作品は今後も増える予定です。対応作品には、人気シリーズの「ストレンジャー・シングス 未知の世界2」などが含まれています。また、ドルビービジョンおよびドルビーアトモス対応のタイトルには、マーベルの「パニッシャー」、最近公開された映画「ブライト」などがあります。
- ドルビーアトモス対応ゲームはMicrosoftのXbox Oneで体験できる。「Gears of War 4」、「アサシン クリード オリジナルズ」などがあります。また「バトルフィールド 1」、「Mass Effect:Andromeda」など初のドルビービジョン対応ゲームもPCで体験できる。
- ドルビーアトモスでのスポーツ中継は、サッカー、テニス、ボクシング等の生中継番組で体験できる。
- スペクタクルな体験を世界中のさらに多くの視聴者に届ける  
世界の大手配信各社が顧客に最高の体験を届けるためにドルビービジョンとドルビーアトモスを採用している。
- ストリーミング配信やオンデマンド配信を行うAmazon、iQIYI、iTunes、Netflix、Rakuten、Tencent、VUDUなどの大手企業がドルビービジョンをサポートしている。Netflix、Rakuten、VUDUについては、ドルビービジョンとドルビーアトモスの両方をサポートしている。
- Okkoは、ロシア国内のサービスでドルビーアトモスのサポートを開始した。このサービスでは、ハリウッドとロシアの両方の映画が提供されている。
- Tencentは、先日、中国でモバイル機器向けTencent Videoアプリのドルビービジョン対応を発表した。iPhone X、iPhone 8、iPhone 8 Plusも対象機器に含まれている。
- 4K UHD Blu-ray ディスクがドルビービジョンとドルビーアトモスに対応するようになった。
- 英国のBT SportとSkyでは、生中継番組にドルビーアトモスが採用されている。
- 昨年の夏、ドルビーは、いくつかの大きなスポーツイベントでドルビービジョンでの生中継を試験的に行ったが、すべて成功を収めている。

## 【問い合わせ先】

Dolby Japan 株式会社：中山 郁夫  
Tel: 03-3524-7397 Fax: 03-3524-7389  
E-mail: ikuo.nakayama@dolby.com



## ◆ブラックマジックデザイン：New Wave Entertainment、「オリент急行殺人事件」の広告キャンペーンに Fairlight を使用

Blackmagic Design は、New Wave Entertainment が 20 世紀フォックスの「オリент急行殺人事件」の広告キャンペーンのサウンドデザインに Fairlight DAW を使用したと発表した。アガサ・クリスティの小説を原作にした同作は、ヨーロッパを旅する豪華列車に閉じ込められた 13 人の見ず知らずの乗客と車掌が、互いに犯人ではないかと疑い合う様子を描いている。

New Wave Entertainment はロサンゼルスに拠点を置くマーケティング会社でポストプロダクション/フィニッシングを専門としたサービスを提供している。チーフエンジニア兼シニアミキサーのマーク・ロドリゲス (Mark Rodrigues) によると、今回のキャンペーンではサウンドエフェクトが重要になる、と同社はプロジェクトの開始当初に気づいたと言う。「機関車のサウンドや背景の環境音に、叫び声、銃声に加え、列車の汽笛を多用してミュージカルのような雰囲気サウンドエフェクトを使って生み出しました。サウンドエフェクトを多く使うと、編集やミキシングに若干時間がかかるのですが、Fairlight のスピードはその遅れを補う以上に早いです。また、Xynergi コントローラーを使うとボタンを 1 ~ 2 回押すだけで数百のコマンドが実行できるので、このプロジェクトの膨大な量のサウンドエフェクトを編集する際に助かりました。

同氏は、以下で構成される 8 台の Fairlight システムを使用しました。5 台の 3.5 ベイの EVO 24 フェーダーコンソール、1 台の 3 ベイの EVO 18 フェーダーコンソール、3 台の XE-6 フェーダーパネルを組み合わせた Xynergi コントローラーに加え、2 台目の Xynergi コントローラーには 1 台の編集ベイを接続した。「過去 18 年に渡って Fairlight を使用しています。弊社自身やクライアントのニーズに合わせて、Fairlight も成長しているのが、その理由です。編集の速度、編集機能自体、ミキシングルーム間でのコラボレーション機能が Fairlight を使用する大きな要因ですね。信頼性が高いことも極めて重要な要素ですね。システムがダウンすることで、納品を遅らせることはあってはならないので」と同氏。

Fairlight では、他のプロジェクトを読み込み、現在のプロジェクトにコピーできるため、これも同社のワークフローに欠かせない画期的な機能だと同氏は語る。「現在のプロジェクトを開いたままで、他のプロジェクトに行き、スポットやミックスをコピーし、必要なオーディオエレメントを探すために別のプロジェクトを検索し、それらを現在のプロジェクトに瞬時に移動して使用できます。また、ビデオスクローラーではビデオの各フレームのビデオストリップが表示されるため作業には欠かせません。会話の同期の調整やサウンドエフェクトを配置する場所をフレーム単位で確実に探すことができます。前後に位置するフレームをクリックするだけで、タイムラインを移動できます」と同氏は語る。

「統合デュアルビデオトラックを使用して、映像をオフラインとファイナルに分割して、フレームアキュレートであることを確認しています。これはバージョン間でコンフォームを行う際にも非常に

便利です。映像が変わる場所が的確に分かるので、どのオーディオを使用すべきが簡単に分かり、すべてをゼロからやり直すのではなく、以前の作業を生かして作業できるため、非常に多くの時間を節約できます。クライアントとの承認作業中に、現在のスポットに、他のスポットの最後の部分を編集できるのは本当に素晴らしい機能ですね。オーディオでビデオの編集が行われることはあるんです。後日ビデオ編集ベイでラフカットを仕上げる場合でも、ガイドラインとしてビデオエディターが使用でき、作業のスピードアップに繋がります。

New Wave Entertainment には複数の部門があるため、Fairlight のシステムは様々なプロジェクトや納品ファイルに使用されている。「オリент急行殺人事件」では、同社は国内と海外テレビ用スポットCM、テレビ/ラジオ/オンライン用の予告編に加え、映画館での広告、舞台裏映像、SNS 用 (Instagram、Facebook、Snapchat など) マーケティング CM の制作を行なった。

「今回のプロジェクトのような作品では、テレビ放送、SNS、映画館での放映用に個別のプロジェクトを Fairlight で作成し、納品用の圧縮を個別に行うことで、多くの時間を節約できます。スポットは 225 個以上で、それぞれ最大 10 バージョンまでであったため、約 2250 ファイルが納品されたこととなります」と同氏は説明する。「Fairlight の速度が非常に早いことに加え、ミキシングルーム間でスポットやミックスを自由に移動できるため、3 つのミキシングルームで本作の作業を行い、最終的に 1 つに統合することができました。各スポットが承認されたら、専用の部屋でステムファイルの作成を行いました。これは、ミキシング担当者がクライアントと他のスポットの承認を行いながら、ファイル作成者がミキシングルームから承認済みのスポットを受け取って作業ができたため、承認プロセスの中断や遅延を招くことなく行えました。

同氏は、Fairlight の触覚コントロールの速度について、さらに以下のように言及した。「30 個以上のマクロプリセットを設定でき、各ボタンで実行できるコマンド数に制限がないのは、本当に素晴らしいですね。ビデオベイでの映像と統合作業のためにファイルを渡すにあたって、デジタルファイルは特定の方法で整理されている必要があります。デジタル納品用のマクロは、300 以上のコマンドやボタン操作をマクロキーを一押しするだけ実行します。コントローラー・ジョーグホイールは、オーディオのスクラブに絶えず使用しています。また、高速でスクラブして、特定のビデオショットを見つけるのにも役立っています」と同氏は締めくくった。

New Wave Entertainment は、従業員所有企業で映画、テレビ、製品マーケティング、デジタルマーケティングを専門としている。同社は 3 つのブランド名で、それぞれ異なる活動を行なっている。New Wave Finishing は、映画やテレビのマーケティング向けのポストプロダクション/フィニッシングで 25 年以上その名を馳せている。Project X A/V は、映画、テレビ、ビデオゲームのクリエイティブなマーケティングを専門としており、Hi5 Agency はデジタル、SNS、携帯電話のクリエイティブなマーケティング戦略に特化したサービスを提供している。www.nwe.com

## ◆一般社団法人日本ポストプロダクション協会：平成30年新年賀詞交換会を開催した

JPPAは、平成30年1月12日ホテル・メトロポリタン・エドモント（東京・千代田区）にて、平成30年新年賀詞交換会を開催した。

式は、副会長の三上信一氏の開会の挨拶で始まり、経済産業省商務情報政策局 コンテンツ産業課 課長 山田仁氏、文化庁 芸術文化課 芸術文化調査官 戸田桂氏より来賓挨拶を賜った。

入会20周年会員社(株)クリーク・アンド・リバー社様の乾杯の発声で宴は始まった。中締めとして、副会長松島洋氏の挨拶があり、盛会のうちにお開きとなった。



経済産業省 商務情報政策局 コンテンツ産業課 課長 山田仁氏、



文化庁 芸術文化課 芸術文化調査官 戸田桂氏



入会20周年会員社(株)クリーク・アンド・リバー社と三上信一副会長

## ◆一般社団法人日本音楽スタジオ協会は、平成30年JAPRS 新年会を開催した。

平成30年1月18日、一般社団法人日本音楽スタジオ協会は、平成30年JAPRS 新年会を明治記念館（東京・港区）に於いて開催した。高田英男会長は、活動報告を兼ね新年のご挨拶された。



**2018年 日本音楽スタジオ協会 新年会 「音楽感動」 「音の力」**

**音楽録音事業に関する調査・研究**

- ・2017年 実況録音スタジオ録音実態報告書の「観望」でスタジオ状況は継続、発展準備は下り止まり感もある。
- ・2018年現在は録音準備の下落が最も顕著。志願調査・17年以降急増とアベノミクスにより、発展準備の上昇傾向も見える。
- ・調査結果
  - ・録音エンジニア確保
  - ・スタジオの音質改善

**市販楽市場の動向**

～近頃楽市場のスタジオ需要動向に目を付けて～

テーマ別・個別の発表と発表者発表

講師 ー 藤原 敏夫 東京音楽専門学校講師・JAPRS 副会長  
東京音楽アカデミー 音楽専攻 主任講師 藤原 敏夫

講師 ー 藤原 敏夫 東京音楽専門学校講師・JAPRS 副会長  
講師 ー 高田英男 会長 日本音楽スタジオ協会 会長

**音楽録音事業に関する技術セミナー**

12月18日 明治記念館 東京新大塚キャンパス 5F

**音楽録音事業に関する技術セミナー**

12月18日 明治記念館 東京新大塚キャンパス 5F

**音楽録音事業に関する技術セミナー**

12月18日 明治記念館 東京新大塚キャンパス 5F

**音楽録音事業に関する技術セミナー**

12月18日 明治記念館 東京新大塚キャンパス 5F

**JAPRS認定 資格認定制度の実施**

- ・第10回サウンドコーピング技術認定試験  
応募者 372名  
1,000点満点 35名！！
- ・第11回 Pro-Tool技術認定試験  
応募者 398人  
1,000点満点 12名！！

**音楽録音事業に関する調査・技術の調査**

12月18日 明治記念館 東京新大塚キャンパス 5F

**懇話会**

12月18日 明治記念館 東京新大塚キャンパス 5F

**音楽事業に関する情報収集・発信**

JAPRSホームページ更新プロジェクト始動  
音楽文化情報ホームページを公開す！！

1. JAPRS活動情報タイムリーなアップ。
2. 賛助会員様情報のアップ。
3. 会員様の個人情報。

**嬉しい報告**

JAPRS 法人正会員 4月加盟

JVCケンウッド・ビクターエンタテインメント  
ビクタースタジオ  
君塚スタジオ長 ご挨拶



## ◆映画テレビ技術協会新年名刺交換会

2018年1月12日 銀座・松竹カフェ・セシで開催された。



新入会員の方々と会場風景。

## ■大阪支部 受賞作品を見る会

～作り手と語る～

日時：2018年2月8日(木)13:00～

上映作品：『NHK スペシャルお父さん見えますか

～震災遺児と母4年の記録～』

『和歌山たてこもり事件発砲の瞬間』

『ビジュアルアーツ専門学校卒業制作作品』

『土曜ドラマスニッファー嗅覚捜査官 (最終回)』

『漱石悶々夏目漱石最後の恋京都祇園の二十九日間』

※当日は、撮影、録音を担当された方々にお話を頂きます。

会費：無料 <事前申込不要>

問合せ：<http://www.mpte.jp/outline/branch/files/mirukai-osaka2017.pdf>

【問い合わせ先】

一般社団法人 日本映画テレビ技術協会

TEL：03-5255-6201

## ◆MPTE 第36回勉強会◆

もっと聞きたい！

～撮影現場を充実させる“ドラマ心”とは～

ドラマ制作技術は、短期間で継承、育成が出来ない高度な専門技術力の一つと言えます。

継続的な育成計画に基づいたスタッフ構成など、空洞化を作らないことが大切です。

今回、『坂の上の雲』をはじめ、大河ドラマ、朝の連続テレビ小説など多くのテレビドラマ制作を手掛けられた 飛地 茂氏 (現・株)バスケット顧問/カメラマン・撮影監督・TD)をお迎えし、撮影者としての姿勢、心構えなど、撮影現場ではめったに聞けないお話を伺います。

業界に入ってまだ日が浅い方は勿論、長年制作に携わっておられる方々にも初心に立ち戻る機会としてご参加いただければ幸いです。

日時：2018年2月15日(木)15:30～17:30

(受付開始 15:00～)

講師：飛地 茂氏

昭和47年NHK入局。「長い道のり」「中学生日記」ドラマ10「夢帰行」ドラマスペシャル「人間到る処青山あり」など数多くのドラマ撮影を担当。ドラマTDとしても、土曜ドラマ「私が愛したウルトラセブン」、連続テレビ小説「ひまわり」、正月時代劇「風光る剣」、大河ドラマ「徳川慶喜」、ドラマDモード「深く潜れ～八犬伝2001～」、スペシャルドラマ「坂の上の雲」など担当作品多数。現在は(株)バスケット顧問。

会場：ナックレンタル 赤坂ビル 1F 会議室 (株)ナックイメージテクノロジー (東京都港区赤坂4丁目13番13号) 東京メトロ千代田線赤坂駅 徒歩8分

定員：24名

会費：MPTE 会員/無料

申込方法：協会 HP <<http://www.mpte.jp/>>の申込フォームから送信ください。

※勉強会終了後、講師を囲んでの懇親会 (会費制・自由参加)開催予定。

問い合わせ先：TEL：03-5255-6201 FAX：03-5255-6202

E-mail：seminar@mpte.jp

主催：一般社団法人 日本映画テレビ技術協会

協力：株式会社ナックイメージテクノロジー

## ◆MPTE 第37回勉強会◆

報道カメラマンが語る「ドキュメンタリー撮影の手法」～  
受賞作品上映～

普段ニュースの最前線にいる報道カメラマンの、ドキュメンタリー番組へのアプローチや撮影手法について、じっくり伺う機会を設けました。第70回映像技術賞を受賞したドキュメンタリー作品「NHK スペシャル『お父さん見えますか～震災遺児と母4年の記録』」を上映し、担当された大淵カメラマンに登壇頂きます。

ドキュメンタリーに携わる方、必見の勉強会です！是非ご参加ください。

日時：2018年2月23日(金)15:00～(受付開始 14:30～)

講師：大淵 光彦氏 (日本放送協会 報道局映像取材部)

\*ニュース取材、企画リポート、NHK スペシャルなど数多くの報道番組を手掛ける。本勉強会の上映作品以外にも、2012年「最期の笑顔～納棺師が描いた東日本大震災～」がインターナショナルドキュメンタリーグランプリ 2013 銀賞、第66回映像技術賞受賞。

2013年「老人漂流社会」がアメリカ国際フィルム・ビデオ祭ワールドカメラ賞を受賞するなど、他多数。

会場：(株)オムニバスジャパン 赤坂ビデオセンターB1F 試写室「Sofia」

(東京都港区赤坂 7-9-11)東京メトロ千代田線赤坂駅 徒歩 5 分

【当日スケジュール】

15:00 ~ 開会

15:10 ~ 上映『お父さん見てますか』(49分)

16:00 ~ 講演

「ニュース撮影とドキュメンタリー撮影の違い」取材の進め方

撮影設計

機材選択など

○語り手:大淵光彦カメラマン

○ナビゲーター:落合厚彦氏(NHK 報道局 副部長)

17:10 ~ 質疑応答など

17:30 ~ 閉会予定

定員:35名

会費:協会会員(個人・法人)無料、非会員¥2,000

【上映作品について】

東日本大震災で父親を亡くした妻と子が、喪失から再生するまでの日々を4年にわたって記録したドキュメンタリー。2人の小さな心の変化が、自然なカメラワークで表現されている。

先読みする力・瞬発的な判断・信頼関係がなければ成立し得ないシーンが随所に捉えられており、何でも無い毎日である“日常”が如何にかげがえのないものなのかが、愛情ある視点で語られる。

申込方法:協会 HP <<http://www.mpte.jp/>>の申込フォームから送信ください。

※勉強会終了後、講師を囲んでの懇親会(会費制・自由参加)開催予定。

問い合わせ先:TEL:03-5255-6201 FAX:03-5255-6202

E-mail:seminar@mpte.jp

主催:一般社団法人 日本映画テレビ技術協会

協力:日本放送協会、株式会社オムニバスジャパン

## ◆MPTE 第 38 回勉強会 Netflix に於ける品質基準

Netflix はストリーミング配信業者である一方、シリコンバレーに本社を置く IT 企業でもあり、オリジナル作品を生み出すスタジオとしても知られています。

今回はライセンス・コンテンツの受け入れに際し、品質に万全を期すための納品基準と、Netflix オリジナル制作ガイドラインについてお話を伺います。

コンテンツ制作に携わる皆さまにとって、新たなビジネスチャンスに繋がる内容となっております。是非ともご参加ください。

日時:2018年3月7日(水)15:30~17:00(15:00 受付開始)

会場:NPO 法人映像産業振興機構

104-0045 東京都中央区築地 4-1-1 東劇ビル 2F

<https://www.vipo.or.jp/about/access/>

講師:(株)NETFLIX メディア・エンジニアリング&パートナーシップ シニアエンジニア 宮川 遙氏

(株)NETFLIX コンテンツ・ディストリビューションプロ

プロジェクトマネージャー 高橋 武生氏

定員:60名

会費:会員/無料(MPTE 個人会員・法人会員)、学生/無料、非会員:4,000円

テーマ:『Netflix における品質基準』

内容1.NETFLIX の紹介

2. ライセンス・コンテンツ受け入れの品質基準

3. 新しいマスターフォーマットである IMF に関する技術的解説

4. オリジナル作品制作のガイドライン

5. 質疑応答

申込方法:協会 HP <<http://www.mpte.jp/>>の申込フォームから送信ください。

主催:一般社団法人 日本映画テレビ技術協会

## ◆MPTE 第 39 回勉強会◆ 8K パブリックシアター映像制作の実践と ワークフローの開設

2018年12月から開始予定の8K放送。最近では医療、セキュリティ、社会資本整備など、8Kそのものが各方面から注目されるようになり、その潜在的な応用範囲は多岐に亘ると予想されます。今回はパブリックビューイングなど大きなサイズのスクリーンで見る観賞用コンテンツに絞って、InterBEE2017での8Kシアター用コンテンツ制作を事例に8K機器開発の先駆者的ポジションにおられるアストロデザイン様にお話頂きます。合わせて、8K映像制作ワークフローの今について解説していただきます。

日時:2018年3月20日(火)15:00~17:30

会場:アストロデザイン株式会社

〒145-0066 東京都大田区南雪谷 1-5-2

<https://www.astrodesign.co.jp/company/map.html>

講師:アストロデザイン株式会社 企画部部长 金村達宣氏

定員:50名

会費:会員/無料(MPTE 個人会員・法人会員)、学生/無料、非会員:4,000円

テーマ:

『8K パブリックシアター映像制作の実践とワークフローの解説』

内容1. 8K 解像度とコンテンツの親和性

2. 成功例、失敗例

3. 視聴環境

4. 制作ワークフローの解説

5. 今後の課題

※勉強会終了後、機材デモと8Kプロジェクターによる試写も予定しています。

申込方法:協会 HP <<http://www.mpte.jp/>>の申込フォームから送信ください。

主催:一般社団法人 日本映画テレビ技術協会